

活動の記録と今後の予定

◆ 会の活動

平成5年

11月15日：幹事と共同チームとの懇談（東京・共同チーム会議室）。

平成6年

2月8日：第6回幹事会（和光・理研 生物科学研究棟S310号室）。
第3回運営委員会（和光・理研 生物科学研究棟S305号室）。
第2回総会（和光・理研鈴木梅太郎記念ホール）。

3月下旬：「光彩」No. 3 発行

4月28日：1994年度第1回幹事会・運営委員会（東京・東京大学）。
サブグループ世話人会（東京・東京大学）。

◆研究課題サブグループの会合記録・予定

平成5年

10月30日：〈広エネルギー領域XAFS〉 共同利用ビームライン計画趣意書申請の件について（岡山・岡山大）。

11月4日：〈粉末回折〉 R&Dおよびビームライン建設について（愛知・名工大）。

11月6日：〈軟X線光化学・軟X線CVD 2SG合同〉 ビームライン建設計画（大阪・大阪市大）。

11月12日：〈磁気散乱・吸収〉 「共同利用ビームライン計画趣意書」作成のための研究会（東京・東大）。

11月13日：〈高温〉 ビームライン計画について（京都・京大）。

11月19日：〈固体電子物性〉 SPring-8用X線アンジュレーターについて（東京・共同チーム）。

11月22日：〈医学利用〉 「共同利用ビームライン計画趣意書」作成のため（東京・理研）。

11月27日：〈軟X線顕微鏡〉 平成5年度ビームライン建設趣意書について（東京・学士会館）。

12月21日：〈核励起〉 SGの現状報告・KEK・PFでの実験結果・メンバーの現在の研究・今後の研究計画と新しい実験の提案と検討（和光・理研）。

平成6年

1月12日：〈化学反応〉 SPring-8、「化学反応」SGのビームラインに関する意見交換（東京・東工大）。

1月22日：〈軟X線光化学〉 円偏光の解説とビームライン建設計画書の検討（愛知・分子研）。

1月25日：〈広エネルギー領域XAFS〉 SPring-8共同利用ビームライン建設本提案並びに趣意書に対するコメントの検討、今後のスケジュール（大阪・阪大）。

1月27日：〈医学利用〉 「共同利用ビームライン計画提案書」作成について、放射光の医学利用研究の今後の進め方について（つくば・高エネ研）。

1月28日：〈生体高分子(非結晶)〉 「ビームライン計画提案書」作成のための打ち合わせ（大阪・阪大）。

- 1月29日：〈原子・分子〉「共同利用ビームライン計画提案書」作成について
（和光・理研）。
- 2月 5日：〈トポグラフ〉ビームライン建設計画検討会（東京・東大）。
- 2月 8日：〈硬X線顕微鏡〉建設計画趣意書（英文）の提出について（和光・理研）。
- 2月 9日：〈軟X線顕微鏡〉建設計画趣意書（英文）の提出について（和光・理研）。
- 2月10日：〈広エネルギー領域XAFS〉共同利用ビームライン建設本提案の原案作成、
その他（岡山・岡山大）。
- 2月15日：〈X線構造生物学・タンパク質結晶学 2SG合同〉SG活動の経過報告、
ビームラインの現状報告及び計画提案書提出について、今後の活動方針
（東京・東工大）。
- 2月18日：〈広エネルギー領域XAFS〉共同利用ビームライン建設本提案の最終案作り
（京都・京大）。
- 2月23日：〈粉末解析〉提案書提出における最終検討（東京・化学会館）。
- 2月24日：〈極小角X線散乱〉平成6年度の活動、特定研究ビームラインについて
（京都・京大）。
- 3月 9日：〈トポグラフ〉トポグラフ用ビームライン計画検討会（神戸・国際会議場）。
- 3月 9日：〈光励起新素過程〉BL計画及び今後の活動方針（神戸・国際会議場）。
- 3月19日：〈軟X線光化学〉「ビームライン建設計画書」の検討（岡崎・分子研）。

◆原研・理研・SPring-8共同チーム関連委員会等日程

平成5年

- 12月 7日：平成5年度第1回大型放射光施設計画検討委員会加速器小委員会（東京）。
- 12月10日：第2回大型放射光施設安全性検討委員会（播磨）。
- 12月16日：第3回ビームライン検討委員会（東京）。

平成6年

- 2月 2日：第4回ビームライン検討委員会（東京）。
- 2月7-9日：平成5年度利用系R&D成果報告会（和光・理研 鈴木梅太郎記念ホール）。
- 2月28日：平成5年度第3回大型放射光施設安全性検討委員会（東京）。
- 3月 4日：平成5年度第2回大型放射光施設計画検討委員会利用小委員会（播磨）。
- 3月9-10日：第4回SR国際シンポジウム（神戸・財団との共催）。
－放射光による材料科学研究の進展－
- 4月 8日：第5回ビームライン検討委員会（東京）。
- 4月17日：播磨地区SPring-8等一般公開（播磨・財団等と共催）。

◆（財）高輝度光科学研究センター関連委員会等日程

平成5年

- 10月27日：パイロットビームライン 光源・ビームライン検討委員会（大阪）。
- 11月 1日：パイロットビームライン ハッチ検討委員会（大阪）。
- 11月26日：第14回マイクロビーム形成小委員会。
- 12月 9日：パイロットビームライン 光源・ビームライン検討委員会（東京）。
- 12月10日：パイロットビームライン ハッチ検討委員会（東京）。

平成6年

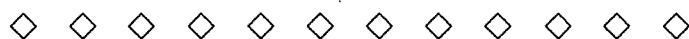
- 1月27日：パイロットビームライン 光源・ビームライン－ハッチ検討合同委員会（東京）。

- 2月 3日：「SPring-8と新しい放射光利用技術」講演・見学会
（播磨・大阪科学技術センターとの共催）。
- 2月14日：シンクロトン放射光利用技術セミナー
（大阪・大阪ニュークリアサイエンス協会との共催）。
- 2月15日：海外放射光施設調査報告会（大阪）。
- 2月22日：パイロットビームライン ハッチ検討委員会（大阪）。
- 2月28日：パイロットビームライン 光源・ビームライン検討委員会（大阪）。
- 3月 4日：「放射光の医学利用」講演・見学会（大阪・大阪科学技術センターとの共催）。
- 5月13日：「アジア交流放射光フォーラム」（神戸・日本放射光学会との共催）。

◆放射光関連研究会・講演会等日程

平成6年

- 1月10, 11日：第11回PFシンポジウム（つくば・KEK）。
- 5月11, 12日：第7回放射光学会年会（神戸・神戸市産業振興センター）。
- 5月13日：アジア交流放射光フォーラム（神戸・神戸市産業振興センター）。
- 5月16-20日：First East Asian Symposium on Biophysics (ASB94)
（西播磨・支援センター）。



幹事会報告

庶務幹事 菅 滋正、坂井信彦

第6回幹事会[平成6年2月8日]：理化学研究所生物科学研究棟S310号室（埼玉）。第3回運営委員会および第2回総会に先立ち開かれた。次期運営委員選挙結果として、選挙管理委員会より岩見（岡大）、宇田川（東北大）、尾嶋（日本電電）、坂井（姫工大）、坂田（名大）、谷口（広大）、大門（阪大）、難波（神戸大）、松井（日電）、水木（日電）各氏の選出が報告された。候補者推薦者数が少なかったことが反省点として取り上げられ、次回は「光彩」と別個に通知連絡を行い、会員の注意を喚起して候補者数を増やす努力が必要との指摘があった。

<庶務>会員数が810名になった。総会委任状は約270通で、定足数は満たされると報告。

<会計>会費未納者は約1割である。総会報告内容の説明。

<利用>SG総数は33グループである。SG活動報告書を作成中である。

<行事>平成5年度報告。

なお、

- (1) SG活動援助として通信費、講師旅費を認める、ただし通信費は通信文コピー、宛先リストをそえて事務局に請求すること、講師についてはSG会合にどうしても必要な少人数の講師のみに限定し、いわゆる講演会的な講師を対象としないこと、
- (2) 会員のSG新規参加登録の手順を、会員→事務局→SG世話人→事務局とし、世話人の承諾を前提とすること、
- (3) SG活動で懇談会から旅費支給を受けなかった場合でも、活動報告を事務局へ提出する事をSGは義務とすること、

が決定された。